

環境政策		松岡 俊和	
-------------	--	--------------	--

配当年次	2 年次	配当学期	1 学期	科目区分	エグゼクティブ
単位数	2 単位	必修・選択	選 択	授業形態	講 義

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標
/ Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標
知識・理解	理論知識	
	実践知識	○ 環境政策に関連する専門的かつ実践的知識を習得する。
技能	分析解決技能	
	実務技能	
	新規事業技能	
態度	倫理観態度	○ 環境問題に関する意識を高め、社会的責任感と倫理観を身につける。
	企業変革態度	
	地域リーダー態度	○ 地域において環境問題解決を提示する力を身につける。
	国際協調態度	

※ ◎: 強く関連 ○: 関連 △: やや関連

※ 2013年度以降入学生が対象です。

環境政策

授業の概要

北九州市は OECD 緑の成長都市モデルに選定されるなど国内外から環境都市として高い評価を得、都市の成長エンジンとして「環境」を掲げている。(Green Growth City) その環境の取組について、公害、廃棄物、エネルギー等の個別要素単位に、ディスカッションを主体とした解析と、北九州市の環境政策をとりまとめた OECD レポートの改めでの検証を行う。最後に、北九州市が地域政策として Green Growth City を推進していく上での方向性、今後の取組のあり方を取りまとめる。

教科書

OECD グリーン成長スタディ「北九州のグリーン成長」

参考書

北九州の環境政策にかかる OECD レポート (適宜コピーを配布)

授業計画・内容

- ① 環境政策総論①
【講義の趣旨・進め方、北九州市の環境政策の概要】
- ② 環境政策総論②
【時代の変遷とともに広がる環境政策】
- ③ 公害克服の歴史を考える
【公害事象、公害対策、クリーナープロダクション】
- ④ 環境問題と各セクターの関わりを考える
【住民運動、リスクコミュニケーション、環境教育】
- ⑤ 一般廃棄物処理事業を考える
【廃棄物処理の歴史、ごみの有料化、行政と住民の役割分担】
- ⑥ エコタウン事業を考える
【誕生秘話、環境産業化、社会経済との融合】
- ⑦ 低炭素社会づくりを考える
【地球温暖化対策、環境モデル都市、環境未来都市】
- ⑧ エネルギー政策を考える
【北九州市のエネルギー事情、再生可能エネルギー、地域エネルギー政策】
- ⑨ 環境の街づくりを考える
【東田グリーンビレッジ構想、街づくりの主体】
- ⑩ スマートコミュニティ事業を考える
【地域節電所、スマート社会】
- ⑪ 環境国際協力を考える
【自治体と国際貢献】
- ⑫ 環境国際ビジネスを考える
【感謝されるビジネス】
- ⑬ OECD レポートを検証する①
【レポートが掲げる成果】

- ⑭ OECD レポートを検証する②
【レポートが掲げる提言】
- ⑮ 緑の成長に向けての提案とりまとめ
【自らが考える緑の成長】

成績評価の方法 授業への参加姿勢（30%）、授業中のディスカッションへの貢献度（40%）
課題レポート（30%）

事前・事後学習の内容 授業後には、授業の復習をしてください。

履修上の注意

担当者からのメッセージ 環境政策に対して、社会的側面、経済的側面など多方向から切り込んでいく意欲のある学生を期待しています。

キーワード 北九州市の環境政策、緑の成長、サステナビリティ、多様性、国際展開